

安中市 議会だより



◆発行日 平成26年10月17日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 (株)ヒューマンサポート

「碓氷第三橋梁 めがね橋」

明治25年に建設された芸術と技術が融合した美しいレンガのアーチ橋で、川底からの高さが31mあり我が国最大です。この4連の雄大なアーチ橋は「めがね橋」として親しまれ、国重要文化財に指定されています。



平成二十六年安中市議会第三回定例会は、九月一日から九月十七日までの十七日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、人事案件や条例の制定など十八件、平成二十五年度決算関係が九件、あわせて二十七件が提出されました。

また、議員提出議案として条例の一部改正一件と意見書案二件が提出されました。

定例会のあらまし

- ◇ 1日 〓 本会議 会期の決定、議案二十七件を上程（内三件を即決）。決算審査特別委員会を設置、議案を各委員会に付託。
- ◇ 3・4日 〓 決算審査特別委員会
- ◇ 8日 〓 総務文教常任委員会
- ◇ 9日 〓 福祉民生常任委員会
- ◇ 10日 〓 経済建設常任委員会
- ◇ 11日 〓 本会議 一般質問
- ◇ 11・12日 〓 総務文教常任委員会
- ◇ 17日 〓 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案二十四件を可決。議員提出議案三件を可決。閉会。



今定例会における一般質問は、9月11日に行われ、10名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。

質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう！

次の定例市議会は、12月10日～12月22日までの予定です。



金井 久男 (日本共産党安中市議団)

学童保育・合併算定替の終了と 地方交付税・養蚕振興対策について

学童保育の公営化について

問 現在、運営形態が三通り存在するが、私たちは旧松井田町が設置してきた「公設公営方式」が望ましいと要望してきたが、

民営と公営との児童に対する費用の格差についてはどうか。

答 民営は児童一人当たり二十三万円、公営では二十二万九千円ほど。公営では嘱託職員が配置され、月額十七万円の報酬があり、臨時職員では、時給七百八十五円、民営では八百円〜八百五十円となっています。

問 旧松井田町では「公設公営」を基本として進めてきたが、保育を平等にするために、全てを公営にしていくべきではないか。

答 民営のクラブが公営に劣るということはありませんし、保護者ニーズに速やかにこたえられるのは民営のクラブです。

問 すべての学童クラブを民営から公営にするとしたら、どのく

らい予算が必要か。

答 概算で千三百万円増えると思われます。

問 市長は公設公営への展望を持って学童クラブのあり方を考えていただきたいがどうか。

答 まずは民設民営のクラブを公設にし、公営については、その後検討したいと考えます。その他、合併算定替終了後の地方交付税はどうなるのか、世界遺産登録後の養蚕振興策について質問しました。



九十九学童クラブ



柳 沢 浩 之
(清風クラブ)

子育て支援・障がい者支援・ 市民の安全安心について

ファミリーサポートセンター事業
について

問 全国各自治体で、ファミリー

サポートセンターの設置が急増。県内十二市で、本市だけ設置されていないが、その理由は。

答 本市のニーズ調査では、祖父母等の親族が子育てのサポートをしてくれる比率が高く、市民の問い合わせも少ない為に、事業実施の検討がされていません。

問 次世代育成支援行動計画には、ファミリーサポートセンター事業の実施目標が示されているが、未実施である。会議や他市との連携など、本市の取り組みは。

答 情報交換会が年四回開催され参加しています。県や他市には、事業の概要やファミリーサポートセンター設置の実施要綱等の情報収集をいたしました。

問 他市の実施状況は、二市が自治体主体、九市がNPO法人や民間委託で実施。NPO法人や

民間と行政が協力して子育て支援を進めることが必要では。

答 ニーズ調査の結果でも、利用希望ニーズ量が増えているので、子ども子育て支援事業に反映し、実施を前提に検討していきます。

問 子育て世代の親達の希望に
応え、ファミリーサポートセンタ

ーの実施、広報・お知らせ版等で周知することを要望する。その他、障がい者の入所施設・自然災害の対応・空き家問題について質問しました。



ミニファミリーサポートセンター



櫻 井 ひろ 江
(日本共産党安中市議団)

防災対策・給食費の無料化・ 子ども子育て支援制度について

傾斜地等の開発規制について

問 秋間、石尊山の周辺で太陽光

発電の民間開発計画がいくつもある。埋土した所が雨で崩れたり、地滑り警戒区域もあり危険。傾斜地等での開発は、安全確保や自然環境、生活環境を守る観点から、規制すべきではないか。

答 景観への配慮も含め、太陽光発電の開発について、本市でのルールづくりを検討します。
問 防災行政無線の戸別受信機について

問 豪雨時には、屋外受信機では聞こえない。比較的安価な防災ラジオを取り入れている自治体もある。旧安中地域に防災ラジオ等を取り入れる考えは。

答 屋外子局で聞こえない所、百八軒に戸別受信機を設置します。防災ラジオ等、新たな方式や機能については、地域での適正費用等、総合的に検討する中で対応します。

給食費無料化の具体的な進め方について

問 一度に無料化する方が良いと

思うが、市長は、段階的に行われている。一年毎に、中学生、小学四年から六年生、小学一年から三年生という方法はどうか。

答 具体的な進め方は協議中です。
問 実施時期についてはいつか。
答 財政状況を考慮しながら来年度からの実施を考えています。その他、子ども、子育て支援制度について二点質問しました。



松井田地域の戸別受信機



小宮 ふみ子
(民主・社民クラブ)

行政運営・子ども子育て支援新制度・ 安中市国際交流協会・市営墓地について

行政運営について

問 市長公約の優先順位と実現の
目途は、いつ頃か。

答 市民の生命と財産を守って
きます。危機管理体制について
は、来年度から実施します。子
育て支援、給食費の無料化につ
いては、来年度から段階的に進
めていきます。本市の魅力を発
信し、随時取り組んでいきます。
子ども・子育て支援新制度につ
いて

問 制度の概要と影響は。
答 幼児期の学校教育・保育・地
域の子育て支援を総合的に推進
するための制度です。三歳以上
のすべての子どもへの学校教育
・保育が保障され、個人への給
付制度が導入されます。

安中市国際交流協会について

問 県内他市の多くが、行政と国
際交流協会が業務を提携・協力
している。本市では、外国人へ
の相談窓口もありません。

最近、安中市国際交流協会か
ら提出された「外国人の総合的
な窓口の開設等を求める陳情書」
についての対応は。

答 多文化共生に取り組み、窓口
の開設について、前向きに取り
組んでいきます。

市営墓地について

問 市営墓地建設計画についての
市長の見解は。

答 引き続き設置に向けて検討し
ていきます。



国際交流協会ニューイヤーパーティー



高橋 由 信
(ふれすど)

民間開発計画の状況について 本市における太陽光発電設置状況・地域防災 計画の見直し・危機管理体制の強化に向けて の機構改革・要援護者支援について

民間開発計画の状況について

問 開発により、土砂崩れ、水害、
景観や住環境の悪化等が起こり
不安の声がある。市は、状況把
握及び苦情や相談等の対応状況
はどうなっているのか。

答 開発における規制が不要な事
例が多い為、正確な把握が出来
ていない。苦情や相談も災害や
事業者に対するものがあります。
条例の制定について

条例の制定について

問 無秩序な現状では乱開発の恐
れがある。届け出制も含め、条
例を制定すべきだがどうか。

答 景観や環境への配慮や、災害
防止等の観点から、一定のルー
ル作りを検討していきます。
岩野谷地区の大規模太陽光発電設
置について

問 以前ゴルフ場予定地だった森
林を伐採し、十六万枚のパネル
を設置する計画だが、住民から
は濁水土砂災害、鉄砲水等を心
配する声があるが対応はどうか。

答 提示された開発事業構想書に
対し受入可否について、地域開
発対策委員会で検討します。

問 受入可否の判断に積極的に住
民の意見を聞くべきかどうか。

答 委員会での検討をふまえ、必
要に応じ出前講座等に対応して
いきます。
その他、地域防災計画の見直し
について・危機管理体制強化に向
けての機構改革について・災害時
要援護者の名簿作成、個別支援計
画について質問しました。



名山地区太陽光発電設置予定地



小林 訂 史
(無所属)

資源ごみ回収・碓氷病院透折医療・ 有害鳥獣被害と対策・道路・橋梁について

有害鳥獣被害と対策について

問 被害状況は。

答 イノシシによる被害は、市街地を除く市内各所で農産物の食い荒らしや田畑・山林・道路で掘り起こしなどがあり、アライグマやハクビシンなどの小動物は、人家に住み着いてしまうなどの被害が発生しています。

問 被害対策は。

答 猟友会の協力のもと有害鳥獣捕獲隊を組織しイノシシ・ハクビシン・ニホンザル・ニホンジカの捕獲や駆除を実施し、生活環境被害の解消に努めています。また、電気柵などの防護柵設置に補助事業を実施しています。

碓氷病院透折医療について

問 改修後の透折室について伺う。

答 透折室が広がったことからベッド間隔を感染対策も兼ね余裕のある幅としたほか、集中的に管理できる透折カウンターを設置し、二床に一箇所の医療ガ

ス・ベッド毎の非常用電源を設けることが出来ました。また、臨床工学技士を一名増員し、利用者の数は若干増えています。

問 利用者からの要望は。

答 高齢などの理由で通院できない利用者から、車両による送迎サービスのほか、他市の病院で治療されている方からは、当病院での治療を希望する声があります。要望に応えるため、スタッフの増員確保に努力します。

その他二項目を質問しました。



捕獲したイノシシ

障がい者の自立及び就労支援について

問 本市の障害者就労支援センター設置、雇用を希望する事業所等への支援体制はどうか。

答 現在は高崎の支援センターを利用し市内設置は課題です。事業所支援は商工会と連携して助成金情報や相談支援体制、就労支援の研修会等を計画中です。

問 国や県・市町村が障害者就労施設等から優先的に物品等を購入し、就労する障がい者の自立を促進するよう努める「障害者優先調達推進法」に基づいた本市の実績と目標額は。

答 昨年度は菓子の購入・清掃等で約二百六十四万円、今年度の目標は二百六十五万円です。

問 目標が低いと思う。工賃アップの取り組みとして学校での食

材購入や学校校務員の補助作業、入札時の障害者雇用率・施設との取引実績資料提出等はどうか。



佐藤 貴雄
(民声クラブ)

障がい者の自立及び就労支援・ 男女共同参画推進について

調達会議の開催等、工夫をして目標設定も上げていきたい。

男女共同参画推進について

問 第二次安中市男女共同参画計画の策定に当たり調査結果や市民意識向上はどうか。

答 女性の就業意欲の向上がある一方、男性の育休取得等環境づくりも大切です。

問 本市の課題は何か。

答 あらゆる分野での男女共同参画の啓発と市民協働、女性幹部職員の登用もすすめていきます。



市内の就労支援施設



田中伸一
(平成の会)

小中学校施設を除く公共建築物の 整備計画・空き家問題・土砂災害 防止への緊急点検について

小中学校施設を除く公共建築物の
整備計画について

問 耐震改修が必要な本庁舎の整
備計画はどうか。

答 小中学校などの耐震改修が平
成二十七年で完了見込みとな
りますので、来年度より基本構
想に入る必要があります。また、
本事業の財源は合併特例債の活
用が不可欠であります。なお、
庁舎建設に当たっては、各界各
層の意見を伺い、立てる位置や
規模など十分な協議・検討が必
要であり、専門のプロシエクト
等を設置する必要があります。

問 公民館等の改修見通しは。

答 公民館や生涯学習センターは
大勢の市民が集う場所であり、
災害時の緊急避難場所に指定さ
れている施設でもあり、安全性
の確保は極めて重要です。特に
九十九地区・白井地区・坂本入
牧地区の生涯学習センターにつ
いては、建物全体の老朽化は否

めず早急な改築が必要です。
今年度実施計画を立てて迅速に
整備を進めていきます。

問 社会体育施設の改修予定は。

答 中央体育館・東横野体育館は
築五十年以上経過し、耐震性に
問題があります。また、原体育
館は、耐震性能が最も低い施設
です。現状の利用状況を十分検
証し、代替施設の有無などを考
慮し整備計画を立てます。

問 その他、二項目について質問し
ました。



市役所旧庁舎



武者葉子
(公明党)

健康長寿社会への取り組み・ 読書活動の推進について

ロコモ対策について

問 高齢化が急速に進展する中、
自分らしい生活を継続するため
に、ロコモ対策が重要であるが、
市はどのような対策を行ってい
るか。

答 ロコモ対策は運動器（骨、関
節、脊柱など体を支え動かす役
割）の障害を防ぐ取り組みで市
では、運動機能向上教室や筋力
トレーニングなどで、予防活動
を実施しています。

ボランティアポイント制度の導入
について

問 高齢者の社会参加や地域貢献
を促し、自らの介護予防につな
がるボランティアポイント制度
は全国や県内でも取り組みが広
がっているが、本市も導入し、
地域の「支えて」の育成をはか
るべきではないか。

答 まずは、サポーターなど人材
育成に努め、導入している他市
の課題など参考に情報収集し、

検討を継続します。

受領委任払い制度の導入について

問 高齢者が居住する住宅のバリ
アフリー化のための工事費用や
福祉用具購入の一部を補助する
制度で、自己負担の割合を業者
に支払う、受領委任払制度を導
入し、利用者の負担軽減を図る
べきではないか。

答 一時的に支払が高額となる住
宅改修は、近年中の導入に向け
検討を進めます。

その他、一項目を質問しました。



さわやかびんしゃんクラブの活動



今井 敏博
(平成の会)

学校教育について

中一ギャップの状況について

問 要因として考えられる一番の問題点は。

答 教科担任制といった形態の違いや生徒に課せられる規則が多く、学習上の問題や生徒指導上の問題の共有が不十分であるといった背景が考えられます。

中学校における登校拒否の実態

問 完全不登校と保健室登校の状況は。

答 一日も登校できない生徒は七名おり、保健室や相談室に登校している生徒は十一名です。

問 不登校予備軍の生徒の把握は、教科・部活・保健室等、複数の

目で支援できるよう部会を開き、情報共有して組織的に対応し、スクールカウンセラーへ相談できる体制をとっています。

問 今後の対応は

答 小学校で欠席がちな生徒に基本的な学力・生活習慣を確立するため、家庭との連携を深め人

間関係づくりに努めていきます。

小中一貫教育九年制導入の経過と今後の流れについて

問 導入について市教委の考えは。

答 小学校高学年における教科担任制の推進や生活のきまり、学習ルールを揃えるなど円滑な接続となる取り組みをし小中連携モデル校を参考にしていきます。

問 制度導入で中一ギャップは解消するのか。

答 連携や小中一貫のモデル校では、解消傾向にあるようです。



学校教育課窓口

経済建設常任委員会活動報告

経済建設常任委員会は、九月十日委員会終了後、市営住宅秋間団地、松井田統合保育園他について現地調査を実施いたしました。

市営住宅秋間団地では、長寿命化計画により、今年度から大規模改修建築工事を行っています。

内部工事現場の中に入り、工事の途中経過の説明を受けました。

部屋の間取りは、現在の3DKから2LDKになり、各室フーリングへと改修されます。風呂はユニットバスが設置され、窓はダブルサッシとなり、結露が解消されるとのことでした。



市営住宅秋間団地改修工事



松井田統合保育園新園舎建設

工事は平成二十七年一月下旬完成に向け、順調に進んでいるとのことでした。六棟ある秋間団地を一年に一棟ずつ改修し、六年かけてリニューアルする予定です。

松井田統合保育園は、現在の松井田第一保育園と同第二保育園が統合され、平成二十七年四月より新園舎での保育が開始されます。

新園舎は松井田第二保育園の隣に建設し、旧園舎は取り壊され、園庭と駐車場に整備されます。

現在、道路拡幅工事、園舎の基礎工事が進められていました。来春の完成が期待されます。

平成25年度

一般会計・五つの特別会計
及び三つの事業会計決算を認定

一般会計決算

歳入総額 二百五十五億九千八百七十九万九千九百九十九円
歳出総額 二百四十八億七千二百八十八万五千三百五十六円

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、市の予算が目的どおり正しく執行され、十分な成果をあげているかなどを詳細に審査するために、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員を選任して設置された委員会です。審査の中で行われた主な質疑は次のとおりで、それぞれ執行部から答弁がありました。

なお、答弁の内容は、紙面の都合で省略させていただきます。

一般会計歳出

【総務費】

- 路線バス対策事業のデマンド運行について
- ふるさと創生基金について
- ふるさと納税の寄付金について
- 文書広報費のホームページの再構築について
- 地上デジタルテレビ難視聴対策について
- コミュニティセンター助成事業補助金について
- 自衛隊父兄会補助金について
- 市政モニター報告・市民の声に

ついて

- 過誤納返還金の内容について
- 退職手当の内訳について
- 庁舎建設基金積立金の現状について
- 住民センター建設事業の補助金について
- 文書管理の状況について
- 古文書の保管について

【民生費】

- 住宅手当緊急特別措置事業について
- 自立支援給付事業について
- 特別養護老人ホームの待機者の状況について
- 地域支え合い体制づくり事業補

助金の実績・内容について

- 子ども・子育て支援事業の委託料について
- 福祉医療費の不用額について
- 地域自殺対策緊急強化事業の啓発グッズについて
- タクシー利用券助成事業の地区別利用率について
- タクシー利用券の不正利用について
- 介護慰労金の運用について
- 児童手当支給事業の減額の理由について
- 生活保護支援事業の相談・申請・受給件数について

【衛生費】

- 清掃事業の廃棄物処理事業委託について
- ごみ減量容器設置補助金の啓蒙について
- 乳幼児健康診査事業の未受診児の対応について
- 市環境保健自治団体連合会補助金の内訳について
- 公害対策事業の内容について
- 第二次救急医療事業補助金について
- 放射線対策事業の内容について

- 定期予防接種事業の子宮頸がんワクチンの接種状況について
- すみれヶ丘聖苑の小動物の火葬の受け入れについて
- 公害防除特別土地改良事業の今後の進捗について

【労働費】

- 雇用創出事業について

【農林水産業費】

- 有害鳥獣対策事業について
- 補完作物定着促進事業補助金について
- 認定農業者育成支援奨励事業交付金について
- 市民農園整備事業の今後の活用について
- 農作物災害対策事業について
- 農業委員会事業の農地転用について
- 特産地育成補助金の振興作物について
- 青果物生産出荷安定事業について
- 中山間地域等直接支払制度について
- 養蚕振興対策事業について
- 青年就農給付金について
- 林業振興事業の工事請負費につ

いて

【商工費】

- 企業誘致奨励金の内訳について
- 観光施設等管理事業の工事請負費について
- 横川駅周辺地域整備事業の工事請負費・備品購入費について

【土木費】

- 道路維持について各機関の除雪の連携について
- 雪害の対応・取り組みについて
- 街路事業委託料の内容について

【消防費】

- 消防施設整備事業について
- 防災行政無線事業について
- 消防団員の充足率について
- 女性防火クラブ交付金について

- 消防車の更新について

【教育費】

- 学校適正規模推進事業について
- 公民館の地デジ対策について
- 給食の地産地消の状況について
- 図書館の利用状況・開館時間について
- 秋間資料館の古文書移転の進捗状況について
- 築瀬二子塚古墳保存整備事業について
- 公債費比率の見通しについて

【公債費】

- 法人市民税の減収の理由について

一般会計歳入

- 財政調整基金について
- 市営住宅収納率と対策について
- 小根山森林公園管理委託金について
- 個人市民税の減収について
- 固定資産税の減収について
- 地方交付税について
- 合併特例債について
- コンビニ収納について
- 法人市民税の見通しについて

一般会計反対討論

○ 財政運営について
 ○ 財政力指数について
 ○ 市長の今後の財政運営について

アベノミクスで景気が好転しているのは一部の大企業のみだといわれ、金融緩和によって誘導された円安は、輸入材料や燃料代などの高騰によって、中小企業の経営改善の足を引っ張っているといわれています。

いまや三人に一人が非正規社員という雇用状況の不安、十年余で七十万円もの勤労者の賃金が削減されるなどの影響で市民生活はきびしさを増しています。

それが個人市民税、前年比マイナス一・七六%と落ち込むことに現れています。また法人市民税は企業の実績が徐々に回復を見せ、増収増益といわれる中で、マイナス五五・四五%と多額な落ち込みとなり、国の法人税減税をはじめ各種優遇税制のために、今後は業積が伸びても法人市民税は増えないという、地方自治体にとっては



秋間資料館

非常にきびしい、先行き不安を示す傾向が顕著に表れた決算になりました。

一般会計賛成討論

平成二十五年度一般会計の歳入では、市税及び地方交付税がともに大きな減収となり、歳出では社会保障経費や公共施設の維持補修費などが増加するという状況で、積み立てておいた財政調整基金の取り崩しで対応ができた。主な事業の成果として、子育て世代を応援する「市立保育園建替事業」や「学童クラブ建設事業」、環境政策としての「し尿処理施設基幹的設備改良事業」、観光振興と文化財保護両面で期待できる「襄・城ヒストリート関連事業」、安全神話に警笛を鳴らす「生き抜く術の心得帖」の配布、及び公共施設の耐震化事業や防災行政無線事業などが取り上げられ、評価できる。

一方、増加する市債残高や耐震性能不足が明らかな庁舎への対応補助金がぼう大な路線バス対策など問題が山積している。市民の幅

広い行政への期待に応えつつ、財政の健全化の維持に取り組まれるよう要望して賛成討論とします。

人事関係議案

副市長の選任及び人権擁護委員の推薦について、同意しました。

○副市長

前橋市小屋原町

茂木 一義 様

○人権擁護委員

松井田町新井

岩井 輝雄 様

原市

猿谷 秀夫 様



平成25年度 特別会計及び事業会計決算

(単位：円)

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額
安中市国民健康保険特別会計		7,226,420,741	7,207,910,033
安中市後期高齢者医療特別会計		667,949,076	664,492,125
安中市介護保険特別会計		5,243,674,895	5,152,791,921
安中市下水道事業特別会計		1,084,050,125	1,075,950,489
安中市健康増進施設恵みの湯事業特別会計		187,734,828	183,737,028
安中市水道事業会計	収益的	1,352,712,261	1,222,329,796
	資本的	326,888,563	933,576,391
安中市病院事業会計	収益的	2,256,685,108	2,542,513,615
	資本的	579,444,210	653,987,726
安中市介護サービス事業会計	収益的	40,950,241	41,002,585
	資本的	0	0

人事関係以外の議案

○安中市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども・子育て支援法の規定により、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準について、内閣府令の基準を参酌して市の条例で基準を定めるものです。

○安中市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども・子育て支援法等により、児童福祉法の一部が改正され、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について、厚生労働省令に定める基準を参酌して市の条例で基準を定めるものです。この条例の制定に伴い、安中市放課後児童クラブ条例を附則において改正するものです。

○安中市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども・子育て支援法等により、児童福祉法の一部が改正され、家庭的保育事業等の設備及び運営の基準について、厚生労働省令に定める基準を参酌して市の条例で基準を定めるものです。

○安中市副市長の設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

副市長を設置するに当たり、副市長が非常勤特別職を兼ねた場合の報酬の支給を禁止すること、給料月額を定めること、退職手当の財源として退職手当基金を充てられる職員に副市長を加えること、安中市青少年問題協議会の委員を委嘱する範囲に副市長を加えることを規定するため、関係条例を整理し、新たに条例を制定するものです。

○安中市長の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について

副市長を設置するに当たり、退職手当の支給について規定するたため、また、現行の支給方法を見直し規定を改めるため、条例の一部を改正するものです。

○安中市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について

教育長の旅費の支給に關し、引用している安中市旅費支給条例に改正が生じるため、また、退職手当の支給方法を見直すため、条例の一部を改正するものです。

○安中市旅費支給条例の一部を改正する条例について

副市長を設置するに当たり、旅費の支給について規定するため、また、交通機関利用について見直し規定を改めるため、条例の一部を改正するものです。

○安中市福祉事務所設置条例及び安中市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

母子及び寡婦福祉法の一部が改正され、題名が「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に改正されることにより、引用している箇所について改正を行うため、条例の一部を改正するものです。

○安中市市営住宅等管理条例の一部を改正する条例について

「中国残留邦人等の円滑な帰国

の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の一部が改正され、引用している関係条文の改正と、「母子及び寡婦福祉法」の一部改正により、父子家庭の規定を追加等するため、条例の一部を改正するものです。

○安中市保育の実施に関する条例の廃止について

条例で定めていた保育の実施基準について、児童福祉法及び子ども・子育て支援法の定めにより、この基準は子ども・子育て支援法施行規則で定められることとなつたため、条例を廃止するものです。

○財産の取得について

安中市消防団第四分団第三部（東横野地区）、第五分団第三部（岩野谷地区）、及び第七分団第三部（秋間地区）の消防ポンプ自動車（秋間地区）の消防ポンプ自乗車の更新に伴い、可搬式小型動力消防ポンプ付積載自動車三台を購入するものです。

○字の区域の変更について

県営松義東部土地改良事業に伴い、地区内の土地の区間及び形状を改めたことにより、字の区域を変更するものです。



土地改良された松義台地

○平成二十六年安中市一般会計補正予算 (第四号)

○平成二十六年安中市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)
○平成二十六年安中市介護保険特別会計補正予算 (第一号)

議員提出議案

議員定数を二十二人とする
条例を可決

○安中市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について

安中市議会の議員の定数を二十四人から二名減らし、次の一般選挙から二十二人とするものです。

意見書案を可決

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が文書で意見具申をすることができるものです。

今定例会には、二件の意見書(案)が提出され、可決されました。

○脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書

○地方財政の充実・強化を求める意見書

可決されました意見書は、内閣総理大臣をはじめ、国や県の関係省庁に送付しました。

十二月定例会より本会議
インターネット中継を導入(予定)

平成二十三年第三回定例会において設置されました議会改革検討委員会(本年六月より議会改革特別委員会)において検討項目に掲げておりました本会議のインターネット中継が、本年十二月議会より試験的に実施される予定であります。

次の定例会(予定)

中継方法につきましては、生中継、録画中継と実施され、ご家庭のパソコンはもちろんのこと、タブレット、スマートフォンでも視聴可能となるシステムで整備を進めております。

次の定例会市議会は、十二月十日から十二月二十二日までの十三日間の会期で開催される予定です。

◇10日 本会議

開会、議案の上程等

◇17日 本会議

一般質問

◇19日 本会議

一般質問

◇22日 本会議

委員長報告、採決等、閉会

編集後記

八月に起きました広島での大規模な土石流災害により亡くなられました方々に心よりお悔やみ申し上げますと共に、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。さて、ここ数年異常気象による

様々な甚大なる被害が日本列島各地で起きております。行政はもちろんのこと、市民の皆様におかれましては、自分の身を守るための最大限の注意を払っていただくようお願いいたします。市議会といたしましても、危険箇所の把握と改善に努めていきます。これから秋の台風シーズンに入りますが、的確な情報提供を行ってまいります。(今井)



いそべこども園

連絡先

安中市役所 議会事務局宛
☎ 382-1111 内線 1349番

編集委員

- ◎小宮 ふみ子
- 櫻井 ひろ江
- 柳沢 浩之 佐藤 貴雄
- 小林 訂史 今井 敏博
- 吉岡 完司 武者 葉子